

# 令和5年度「全国学力・学習状況調査」の結果 —分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

区 名	東淀川
学 校 名	大阪市立下新庄小学校
学校長名	福井 淳也

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和5年4月18日（火）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

## 1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 2 調査内容

### (1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

### (2) 質問紙調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

## 3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・下新庄小学校では、第6学年 51名

## 令和5年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

平均正答率は国語科、算数科ともに全国平均、大阪府平均、大阪市平均を上回った。国語科においては、全国平均を5.0ポイント、大阪市平均を5ポイント上回った。算数科においては、全国平均を2.5ポイント、大阪市平均を3ポイント上回った。平均無答率は、国語科においては全国平均よりも2.2ポイント、大阪市平均よりも0.9ポイント下回った。また、算数科においては全国平均より2.5ポイント、大阪市平均よりも2.2ポイント下回った。質問紙調査については、生活習慣や自尊感情、自己肯定感については全国平均と同程度か上回っていた。学習や地域での活動についても、全国平均を同程度か上回っていたが、「学校に行くのが楽しい」は全国平均を10.9ポイント下回った。

## 分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

### 〔国語〕

学習指導要領のすべての内容で全国平均を上回った。特に、「話す・聞くこと」は7.5ポイント、「書くこと」については7.3ポイント、全国平均を上回る結果となった。「読む」の領域は、全国平均を0.4ポイント上回っているが、全国平均との差は少ない。問題形式で短答式で全国平均を11.8ポイント上回った。

### 〔算数〕

学習指導要領のすべての内容で全国平均を上回った。特に「変化と関係」は4.6ポイント、全国平均を上回る結果となった。「図形」の領域は全国平均を1.9ポイント上回っているが、全国平均との差は少ない。問題形式では、短答式で全国平均を4.0ポイント上回った。

質問紙調査より

「自分には、よいところがあると思う」の問いに対し、最も肯定的に回答した児童が48.9%、肯定的に回答した割合は91.5%となり、児童の自己肯定感が高めることができた。地域行事の参加については肯定的な割合が61.7%となり、地域や学校での行事に加え、学習支援や地域ボランティアによる読み聞かせなど地域と連携した取り組みにより、地域が児童にとってより身近なコミュニティとなっている結果と思われる。一方、「学校に行くのは楽しいと思う」に肯定的に回答した児童は74.4%で、全国平均から10.9ポイント下回った。「学校が楽しい」と感じられない要因について学校全体で検討し、改善に向けて取り組んでいきたい。

## 今後の取組(アクションプラン)

- ・昨年度から『「自ら学ぶ力を育む」～主体的・対話的で深い学びをめざして～』という主題で取り組んできた結果、「話し合い活動で考えを深めたり広げたりできた」という意識が強まっており、今後も継続的に取り組んでいく
- ・児童の基礎学力定着をめざすとともに、主体的に学ぶことができるよう指導を進める。
- ・ICT機器の活用について進めていく。
- ・英語の学習に興味・関心を持って取り組める環境づくりに取り組む。
- ・児童が主体的に取り組む活動や地域・ゲストティーチャーとともに取り組む活動、伊学年交流や体験的な活動などを通して、学校生活を楽しめるよう取り組む。
- ・委員会の読書への関心を高める取り組み等を通して、読書好きな子どもの育成を図る。

# 【 全体の概要 】

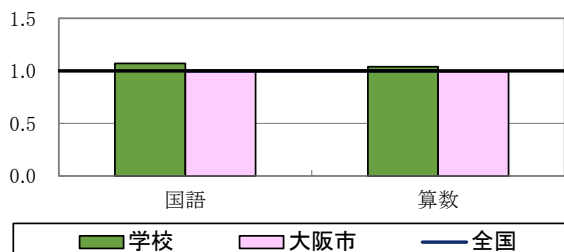
## 平均正答率（％）

	国語	算数
学校	72	65
大阪市	67	62
全国	67.2	62.5

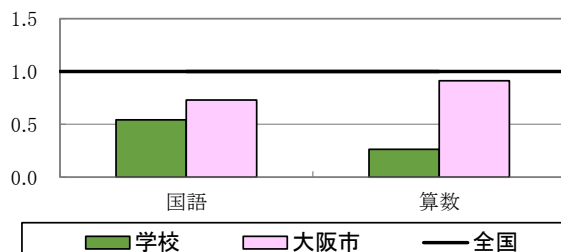
## 平均無解答率（％）

	国語	算数
学校	2.6	0.9
大阪市	3.5	3.1
全国	4.8	3.4

平均正答率(対全国比)



平均無解答率(対全国比)



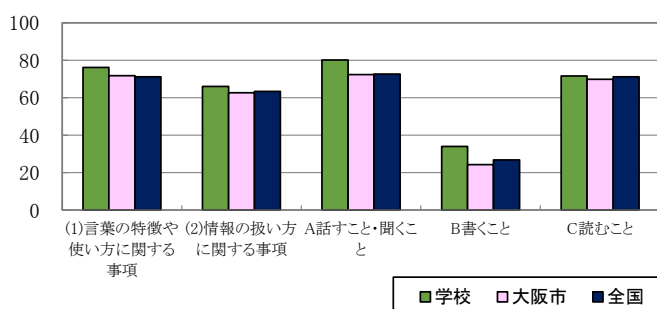
## 【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	5	76.2	71.7	71.2
(2)情報の扱い方に 関する事項	2	66.0	62.6	63.4
(3)我が国の言語文化に 関する事項	0			
A 話すこと・聞くこと	3	80.1	72.4	72.6
B 書くこと	1	34.0	24.2	26.7
C 読むこと	3	71.6	69.9	71.2

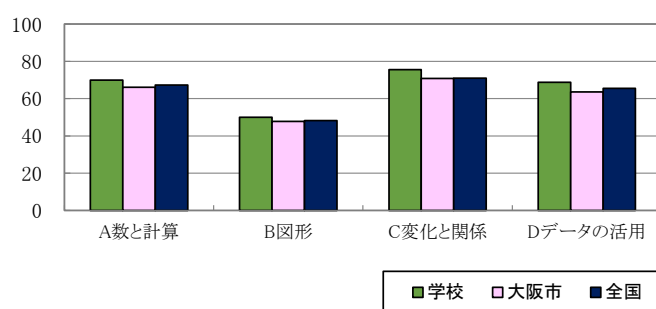
## 【 算 数 】

学習指導要領 の領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	6	69.9	66.1	67.3
4絵図	4	50.0	47.8	48.2
C 測定	0			
C 変化と関係	4	75.5	70.8	70.9
D データの活用	3	68.8	63.6	65.5

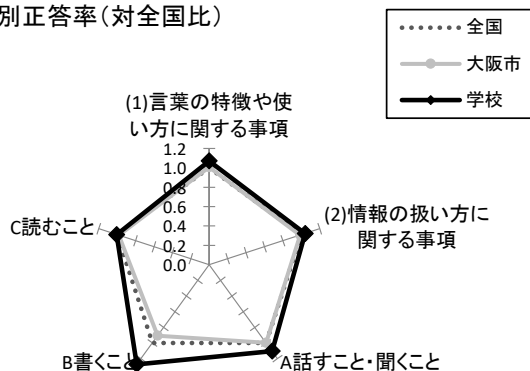
国語 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



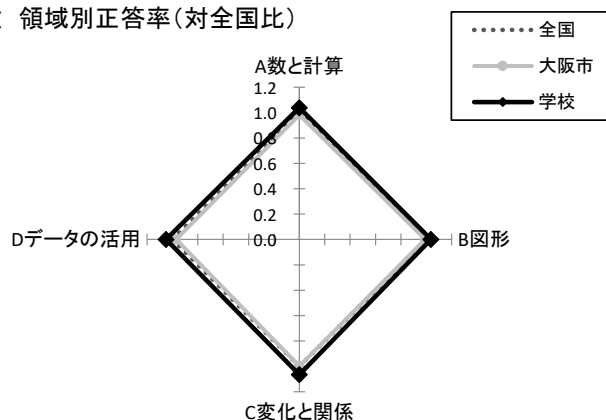
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語 領域別正答率(対全国比)



算数 領域別正答率(対全国比)



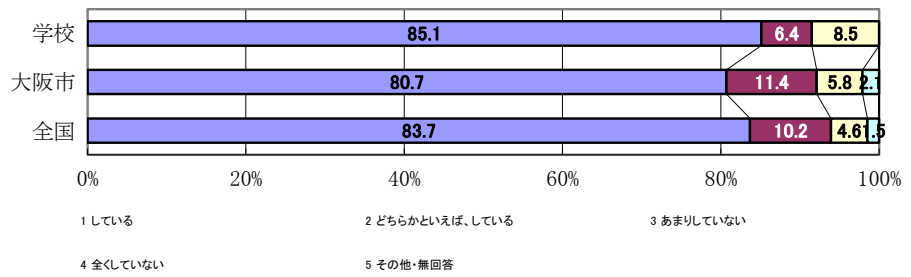
# 児童質問紙より

1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号  
質問事項

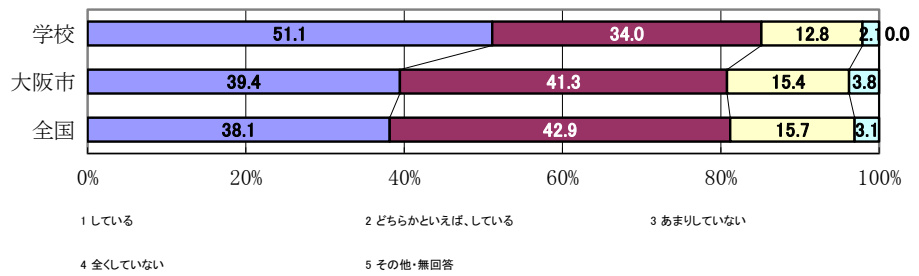
1

朝食を毎日食べている



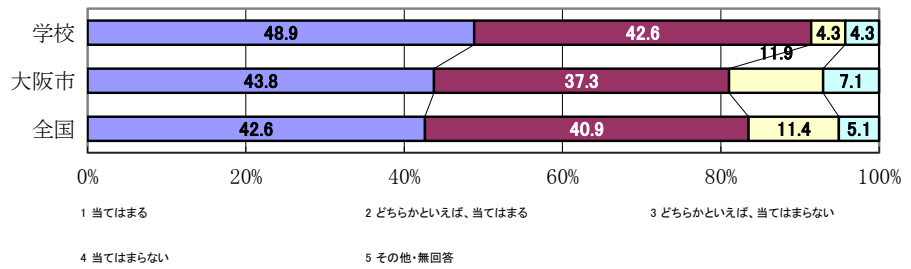
2

毎日、同じくらいの時刻に寝ている



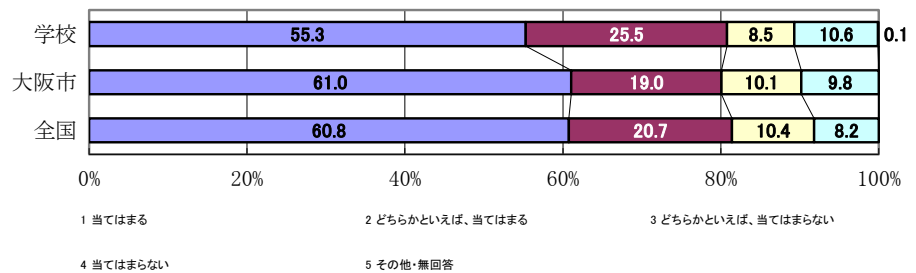
4

自分には、よいところがあると思う



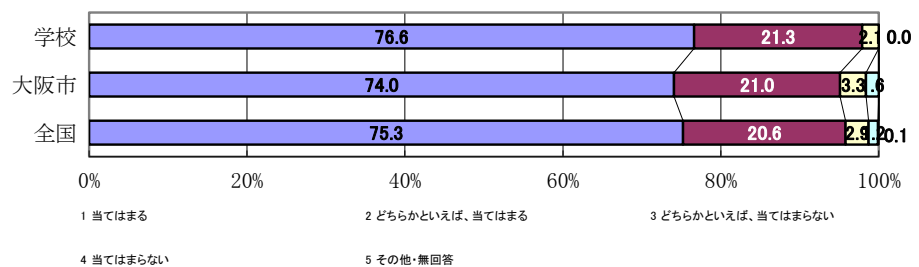
7

将来の夢や目標を持っている



11

人の役に立つ人間になりたいと思う

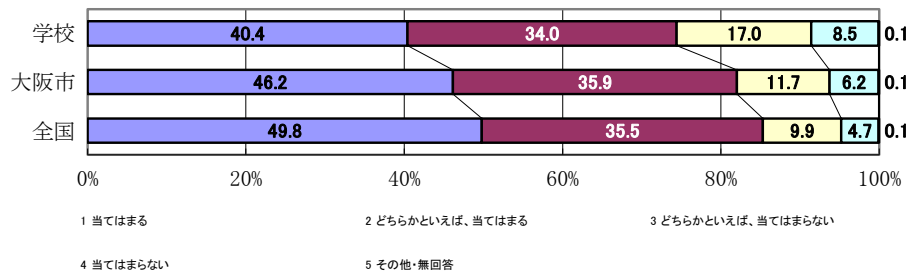


# 児童質問紙より

質問番号  
質問事項

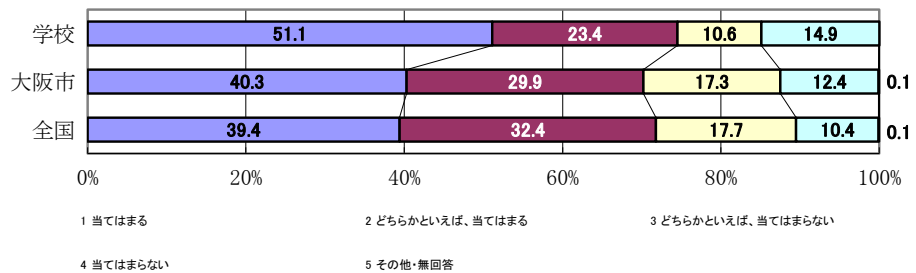
12

学校に行くのは楽しいと思う



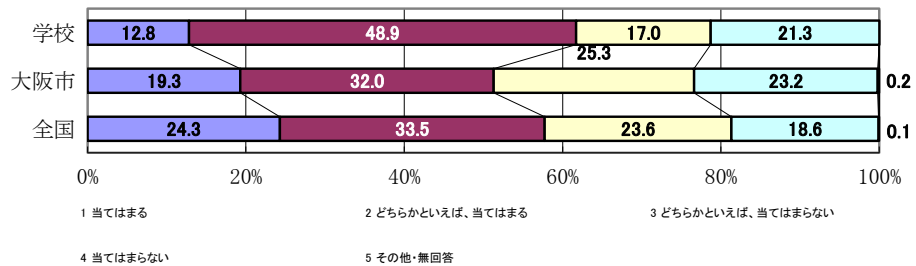
24

読書は好きですか



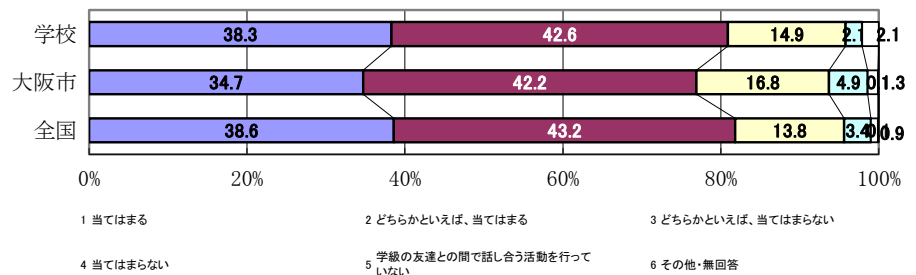
25

今住んでいる地域の行事に参加している



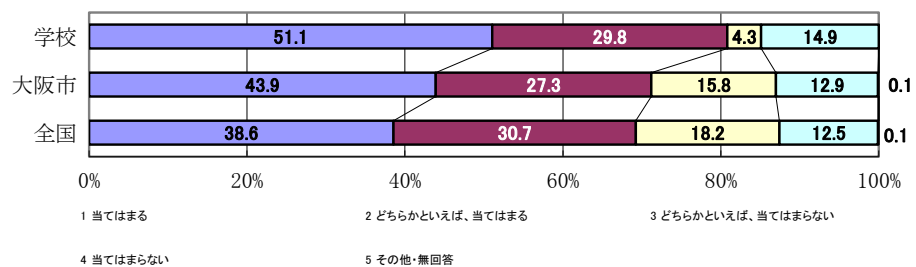
36

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか



55

英語の勉強は好きだ



# 学校質問紙より

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

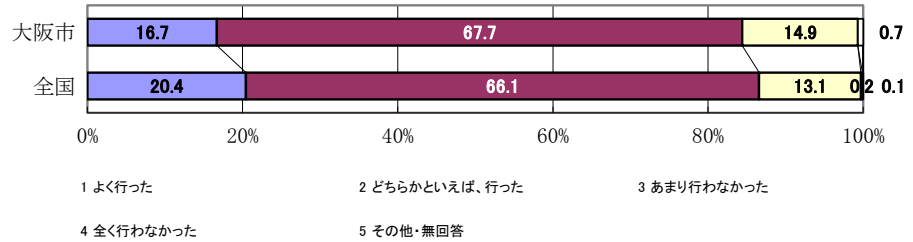
質問番号

質問事項

11

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をした

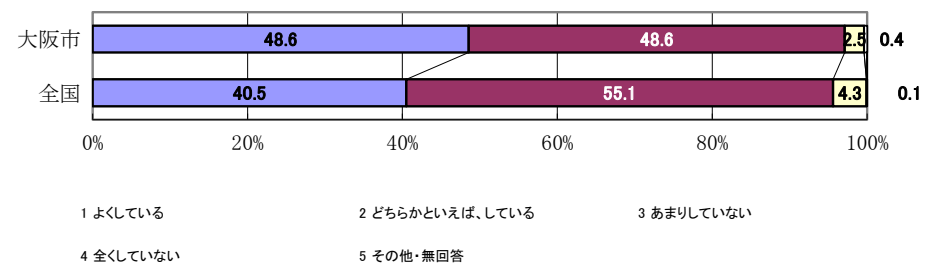
学校 「どちらかといえば、行った」を選択



21

言語活動について、国語科を要しつつ、各教科等の特質に応じて、学校全体として取り組んでいる

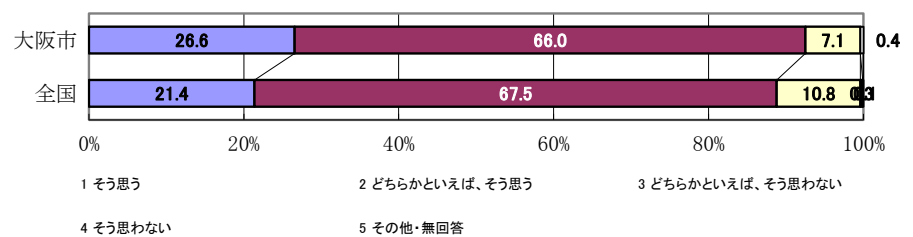
学校 「よくしている」を選択



26

調査対象学年の児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができる

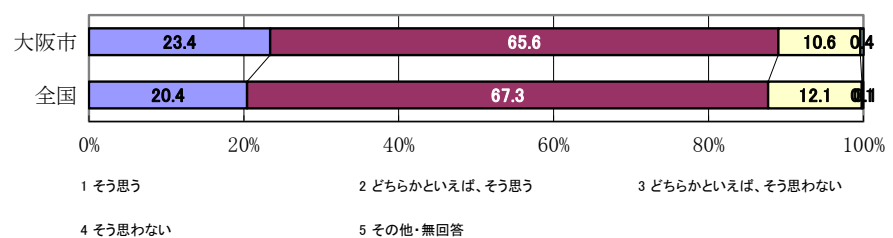
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



28

調査対象学年の児童は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができる

学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



72

保護者や地域の人が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営等の活動に参加していますか

学校 「よく参加している」を選択

